



光現寺ご住職と参加者。

道は確かにある



116号
 仏暦2557 (2013・平成25) 年
 7月7日発行
 呉市中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL 0823 (21) 2798
 FAX 0823 (21) 2795
 www.saikyoji.net
 郵便振替番号
 01340-3-29117
 宗教法人西教寺

去る六月十四日(日)、壮

年会主催「島根の妙好人を

訪ねる日帰りバスの旅」参加

三十九名で、妙好人浅原才市

さんと有福の善太郎さんのご

旧蹟にお参りしてきました。

台風が接近していて心配

しましたが、右へ急旋回、熱

帯低気圧となつて消滅しまし

た。前日十三日は打つて変わ

つて三十四度の猛暑。今度は

熱中症の心配でオロオロ。

明けてみると当日は曇り。

現地は涼しく、いたつて快適

でした。お参りをすませてお

土産を買い、帰るバスに乗り

込んだと思つたら
 雨が降り始めまし
 た。その雨もお寺に
 着く頃には上がり、
 万事順調に帰宅でき
 ました。帰りのバスでは「よ
 かったですねえ、誰の行いが
 良いのでしょうか」と冗談を
 言いながら喜んだことです。

妙好人

「妙好人」の「妙好」と
 は、「妙好華」白蓮華のこと
 です。沼地(ドロドロしたこ
 の世)に真つ白な花を咲かせ
 たような人ということで、念
 仏を深く生きた人を讃えた言
 葉です。他宗はエライお坊さ
 んが出ましたが、在家仏教の
 浄土真宗は、エライ信者をた
 くさん生みだしました。妙好
 人を世界に紹介した禅学者鈴木
 本大拙は、妙好人の社会性
 における限界を指摘しつつも、

その深い宗教性に無分別智
 (おさと)を認め、高く評
 価しています。

ヒマ人の道楽

お寺の法話ではあまり聞き
 ませんが、実は才市さんと善
 太郎さんの人生は、艱難辛苦
 の連続でした。才市さんは、
 十一才の時両親が離婚、母の
 実家に戻った才市さんは船大
 工の年季奉公に出され、母は
 まもなく再婚しました。お父
 さんは出家して西教と名のつ
 ていましたが、今回お参りし
 た安楽寺さんによると、ふら
 ふらしていてほとんど稼ぎが
 なく、家族は海辺の魚小屋で
 寝起きしていたそうで、それ
 が離婚の原因ではないかとい
 うことでした。才市さんの詩
 に、「ゆうもゆわんもなくお
 やが死ねばよいとおもいまし
 た(略)」とあります。才市

新世話人



三津田支坊地区で面
 川千代子さんの受け持ち
 地区を、川島照子さんも
 お手伝い下さることにな
 りました。川島さん、ど
 うぞよろしく願いま
 す。



川島照子さん

少年はどんなにか苦しんだこ
 とでしょう。娘は三度離婚、
 孫は二ヶ月と三ヶ月で次々と
 亡くなっています。
 一方、善太郎さんは、五才
 で母と死別、寂しかったので
 しょう、若い頃は「毛虫の悪